

学園リーグにおける 8 人制サッカーの試みについて

先日の第 1 回、2 回学園リーグでは 8 人制を試験的に実施しました。また、コーチ、保護者、子どもたちにアンケートを行い、今後の学園リーグの実施方法について考えました。

選手育成のテーマは「クリエイティブでたくましい選手の育成」です。これは、さまざまな局面を技術と判断で打開できるたくましい選手です。子どもたちの技術や判断力を養うための状況を作り出すことが必要となります。そこで、学園リーグで 8 人制を用いてその場を提供しようと考えています。8 人制導入についての目的は以下のとおりです。

- ・ **一人一人の選手がボールに関われる機会が多くなる。**
1 対 1 の場面が増えます。
- ・ **「技術」の質を高めることにつながる。**
ボールコントロールがおぼつかない状態では、判断したプレーをうまくパフォーマンスできません。
- ・ **「判断」へのアプローチ場面が多く生じる。**
11 対 11 より、ボールに関わることが多い分、さまざまな判断が必要となります。よって、技術や判断力を高めるきっかけとなります。
- ・ **選手の人数が少ない分、全員が攻守に関わることができる。**
関わらざる得ない状況を作ることができます。(試合に集中した状況)
(日本サッカー協会 U-12 指導指針参照)

試験的に実施し、アンケートをとった結果、8 人制について、「たくさんボールを触れた」「楽しかった」「選手がスペースを使い、走っていた」などメリットがあったという意見がたくさんありました。一方で、選手の戸惑い、試合出場機会の減少、公式戦への対応など、デメリットの面も指摘する意見もありました。

そこで、今後の学園リーグでは、試合会場、チーム人数、各チームの希望などを考慮し、学園リーグ係が 8 人制か 11 人制で行なうということを決定し、それをもとに各会場で試合を行なっていきます。

8 人制と 11 人制両方の良い面を取り入れながら、子供たちの成長する場としていきたいと考えます。ご理解とご協力をお願いします。